

## 第30回（7-9月期）

# 川口商工会議所リアルタイム景況調査

2022年10月 川口商工会議所

# 調査概要・回答者属性

## 調査概要

- 調査期間 : 令和4年10月12日～10月21日
- 調査対象 : 会員事業所 400件 (FAX288件、メール263件、重複151件)
- 回答数 : 回答数 : 113件 回答率 : 28.3%
- 調査方法 : FAX・メールによる送付、FAX・Web (Googleフォーム) による回答
- 分析方法 : 売上、採算、従業員、業況などについて、「増加」(好転など)と答えた企業割合から、「減少」(悪化など)と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析

(DI: Diffusion Index)

## 回答者属性

問1 (1) 業種、(2) 業歴、(3) 資本金、(4) 従業員

業種	実数	%
製造業	25	22.1%
建設業	17	15.0%
卸売・小売業	26	23.0%
飲食業	10	8.7%
サービス業	29	25.6%
その他	6	5.6%
<b>総計</b>	<b>113</b>	<b>100.0%</b>

従業員数	実数	%
0～5人	52	46.0%
6～20人	17	15.0%
21～50人	20	17.7%
51～100人	7	6.2%
101～300人	8	7.1%
301以上	7	6.2%
無回答	2	1.8%
<b>総計</b>	<b>113</b>	<b>100.0%</b>

業歴	実数	%
5年未満	5	4.4%
5～10年	9	8.1%
11～20年	11	9.7%
21～30年	13	11.5%
31～40年	12	10.6%
41年～50年	14	12.4%
51年～60年	20	17.7%
61年～70年	13	11.5%
71年～80年	7	6.2%
81年～90年	4	3.5%
91年～100年	1	0.9%
101年以上	4	3.5%
<b>総計</b>	<b>113</b>	<b>100.0%</b>

資本金	実数	%
個人事業主	17	15.0%
500万円以下	21	18.6%
500万円超～1千万円以下	26	23.0%
1千万円超～3千万円以下	21	18.6%
3千万円超～5千万円以下	11	9.7%
5千万円超～1億円以下	8	7.1%
1億円超～	8	7.1%
未回答	1	0.9%
<b>総計</b>	<b>113</b>	<b>100.0%</b>

# 調査結果概要

## <箇条書きスタイルについて>

- ・ データやグラフの説明
- データやグラフの結果から読み取った考察

### <業種DI>

- ・ 収益状況は飲食業を除いた業種で、半数以上が「黒字」もしくは「収支トントン」と回答している。
- ・ 製造業は他業種と比較して、仕入単価DIが最も悪く今期▲92.0となった。一方で先行きに対しては、製造業のみ回復の見通しである。
- 資源・原材料価格の高騰に加えて、電気代の値上がりや、2022年9月時点で140円台まで進行した円安による輸入品の価格上昇など、企業のコスト負担は増加し続けており、全業種で業況が悪化した。
- ・ 建設業では、従業員DIの先行きは全業種の中で最も高い数値で、64.7ポイントとなり、前回から人手不足傾向が継続している。

### <寄せられている要望>

- ・ 「自然災害対応への支援」
- ・ 「円安への対応・改善」
- ・ 「建設業の人手不足改善」
- 経営悪化要因への対応が各業種から挙がっている。

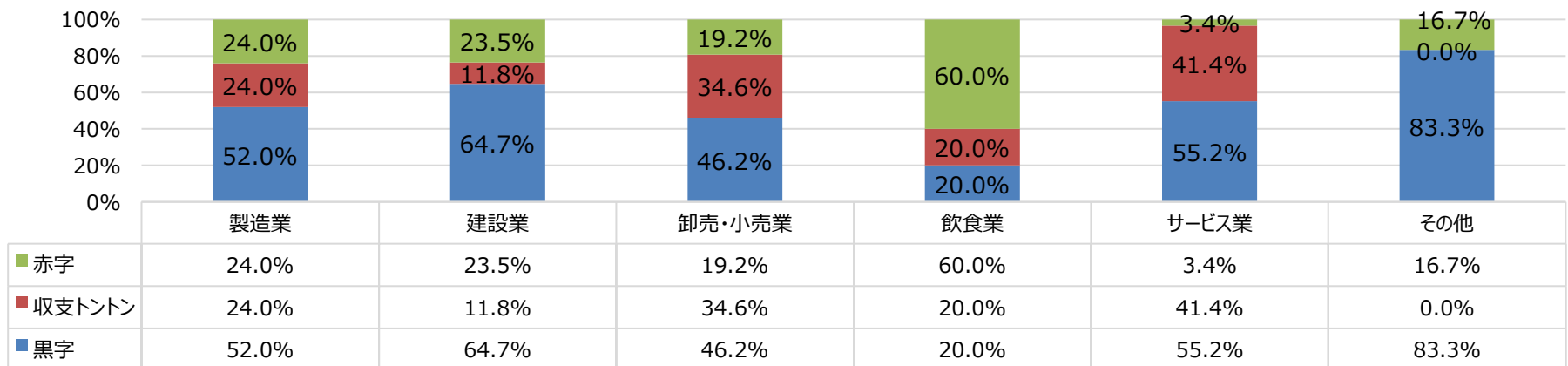
### <コロナによる経営への影響>

- ・ 全体の回答傾向として、「既に改善の影響がある」「今後、改善の影響が見込まれる」「特に影響はない」が半数以上を占めている。
- ・ 飲食業のみ取り残されている状況にある。「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」の回答割合が70.0%に達している。

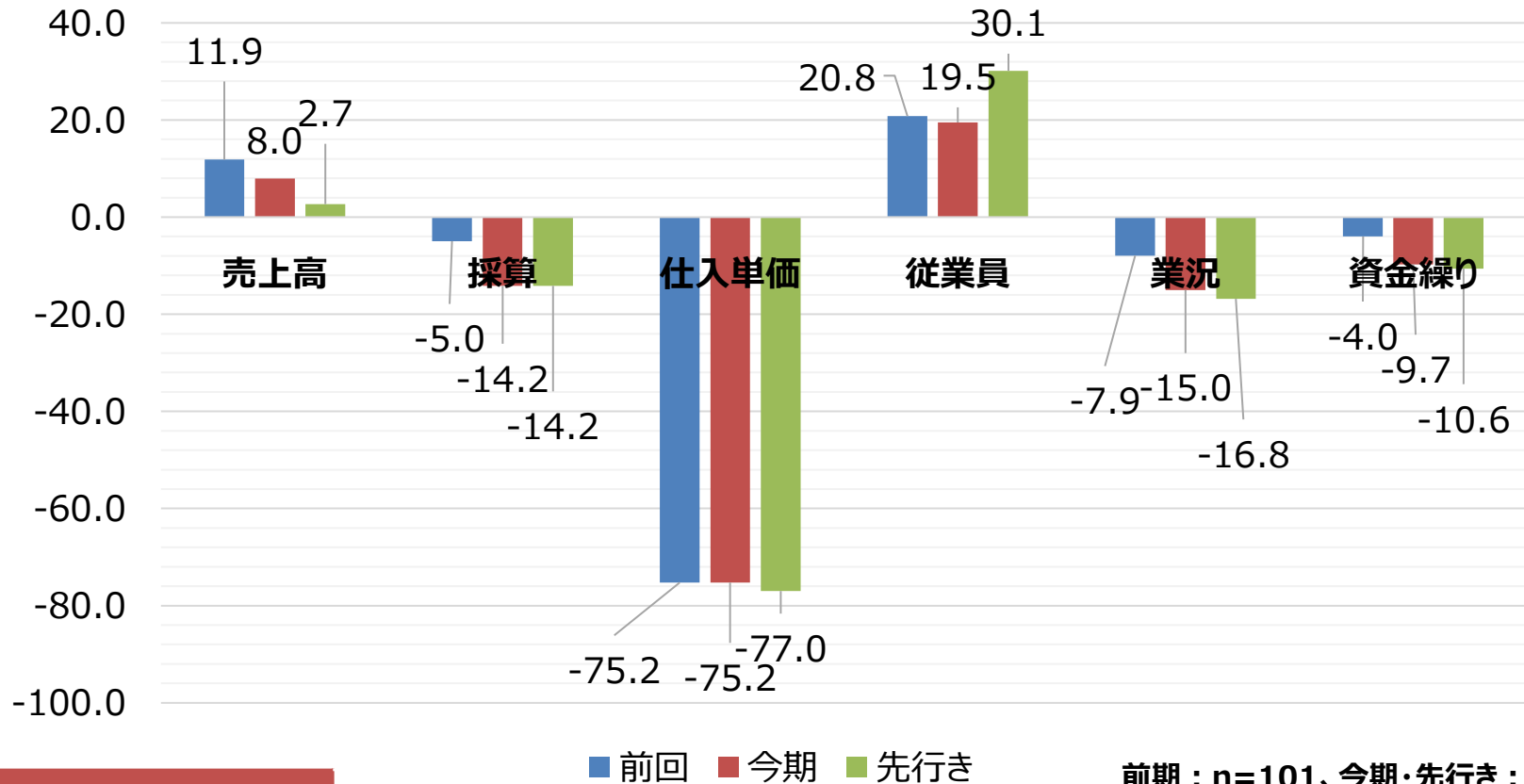
### <風水害や地震等の自然災害への備え>

- ・ 風水害や地震等の自然災害への備えを行っている割合が最も高い業種は、建設業（52.9%）であった。
- 取り組まれている備えの回答は、短時間で済み、手間がかからない取り組みが上位を占めている。

## 問1（5）：収益状況（直近の決算、それ以外は今期の見込み）



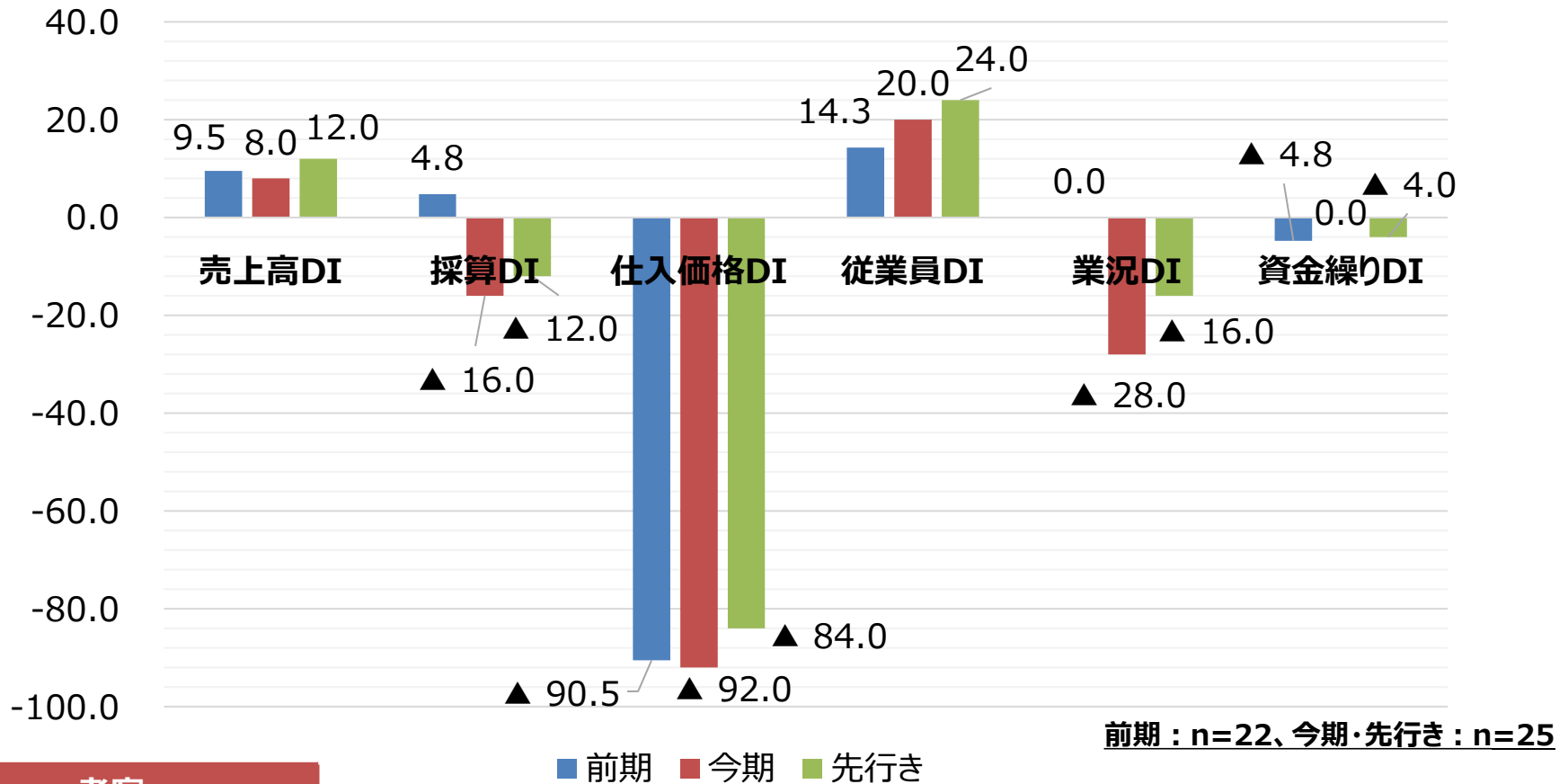
## 問2：景況感について | 全業種DI (前回-今回-先行き)



### 考察

- 売上高DIに関して、今期は、前期から3.9ポイント減少している。
- また、採算DIを見ると、今期は、前期から9.2ポイント減少した。
- 一方、先行きでは、売上高DIが悪化、採算DIは現状維持の見通しとなっている。
- 仕入単価DIが、前期からみると現状維持であるが、先行きはさらに1.8ポイント悪化。業況DIは今期・先行きどちらも減少傾向にある。
- 資源・原材料価格の高騰に加えて、電気代の値上がりや、2022年9月時点で140円台まで進行した円安による輸入品の価格上昇など、企業のコスト負担は増加し続けており、全業種で業況が悪化した。

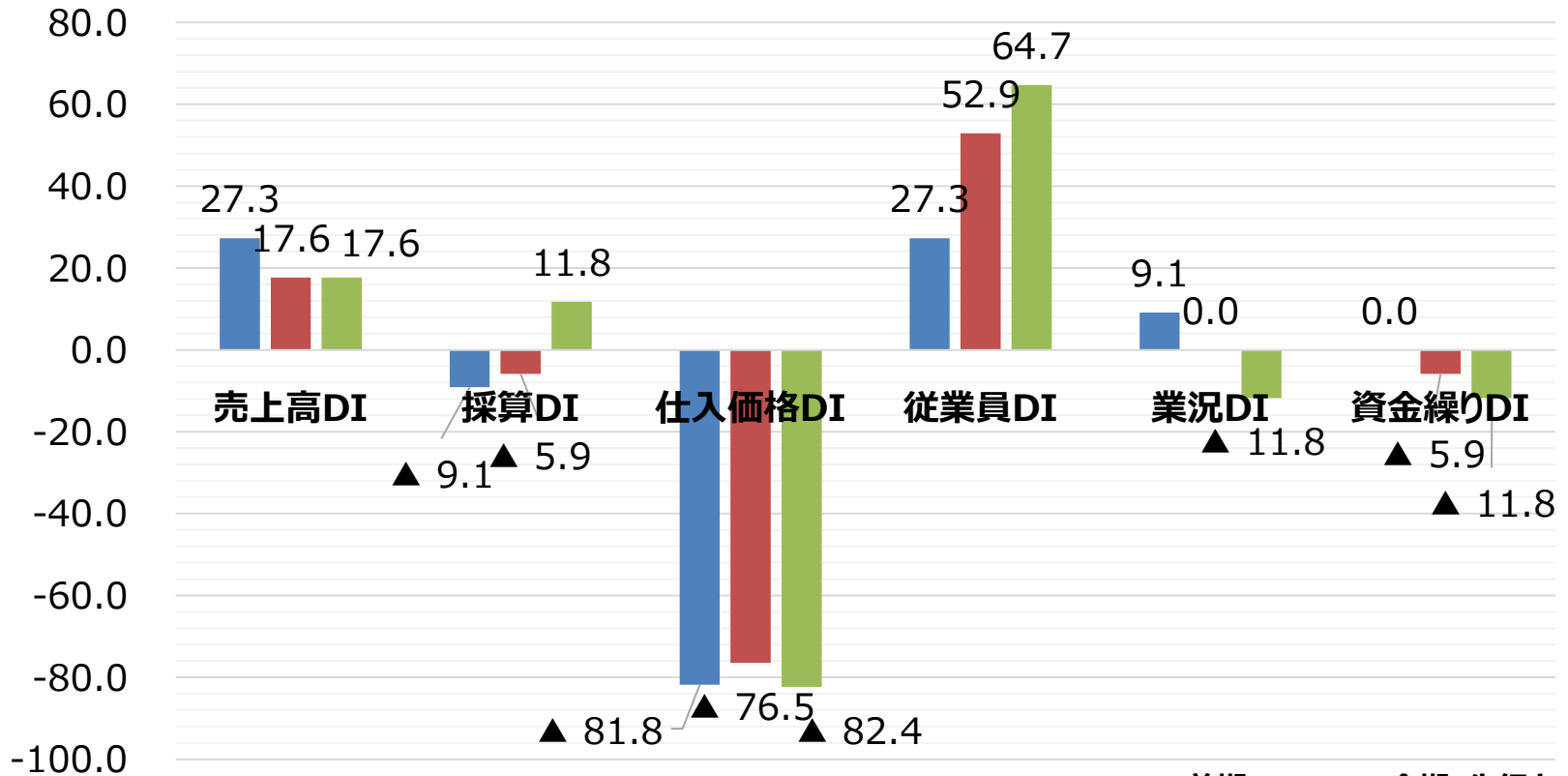
## 問2：景況感について | 製造業DI (前回-今回-先行き)



### 考察

- 製造業では、今期と先行きを比較すると、売上高DIが4.0ポイント回復、業況も12.0ポイント回復する見通しである。
- 他業種と比較して、仕入単価DIが最も悪く今期▲92.0となった。一方で唯一製造業のみ、回復の見通しである。
- ▶ 半導体等の部品供給不足、燃料価格の上昇や円安による輸入部材の高騰はあるものの、売上高4.0、業況12.0ポイントの改善の見通しとなっている。

## 問2：景況感について | 建設業DI (前回-今回-先行き)



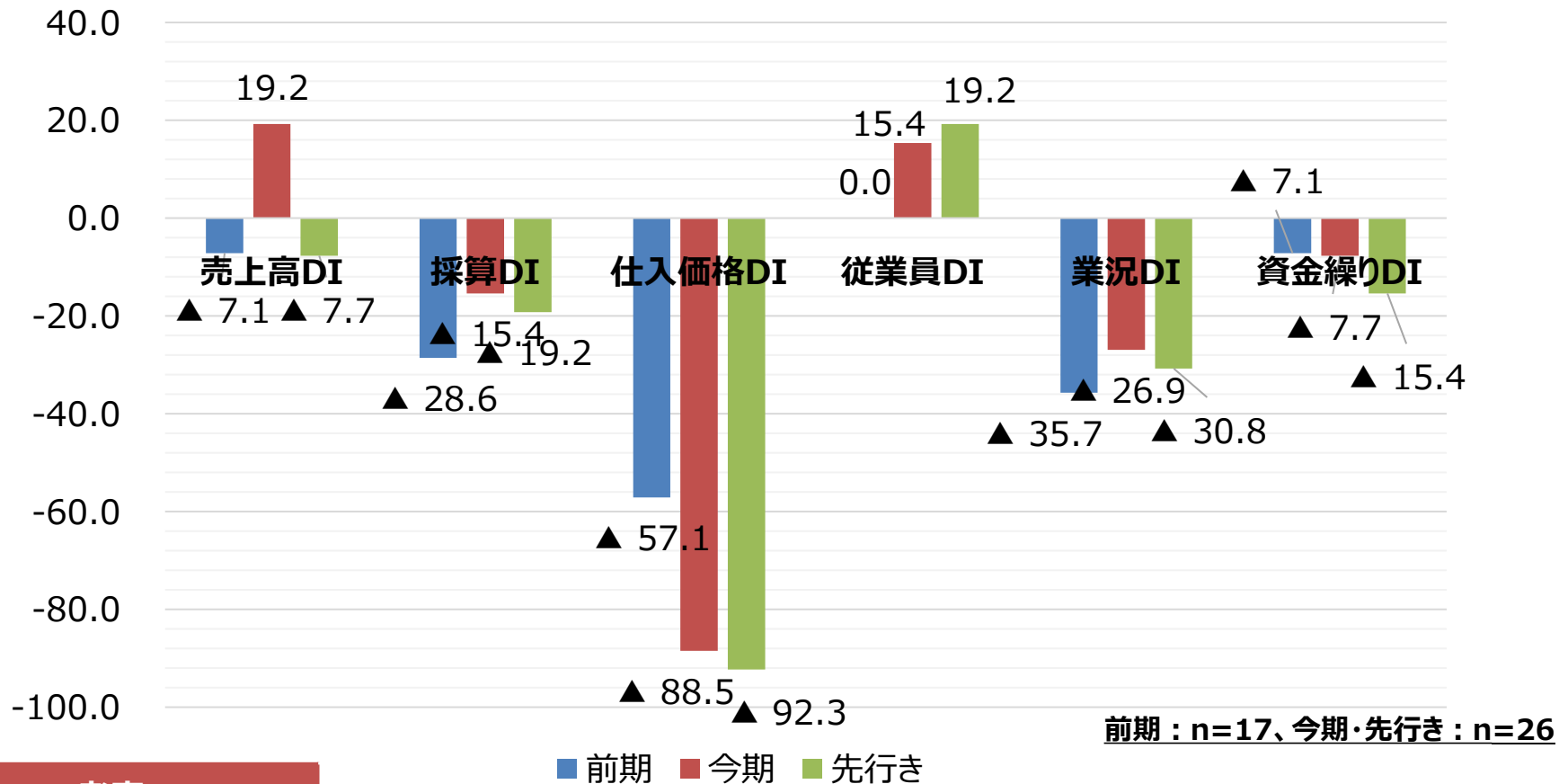
前期：n=14、今期・先行き：n=17

### 考察

■ 前期 ■ 今期 ■ 先行き

- 建設業では、今期の売上高DIが9.7ポイント減少しているものの、採算DIが3.2ポイント回復し、17.7ポイント回復の見通しとなっている。
- 業況DIについては、前期から9.1ポイント減少し、先行きはさらに11.8ポイント減少する見通しとなっている。
- 建設資材価格の高騰や燃料価格の上昇などが下押し、悪化傾向にある。
- 特に従業員DIの先行きは全業種の中で最も高く、64.7ポイントとなり、前回の結果から人手不足傾向が継続している。

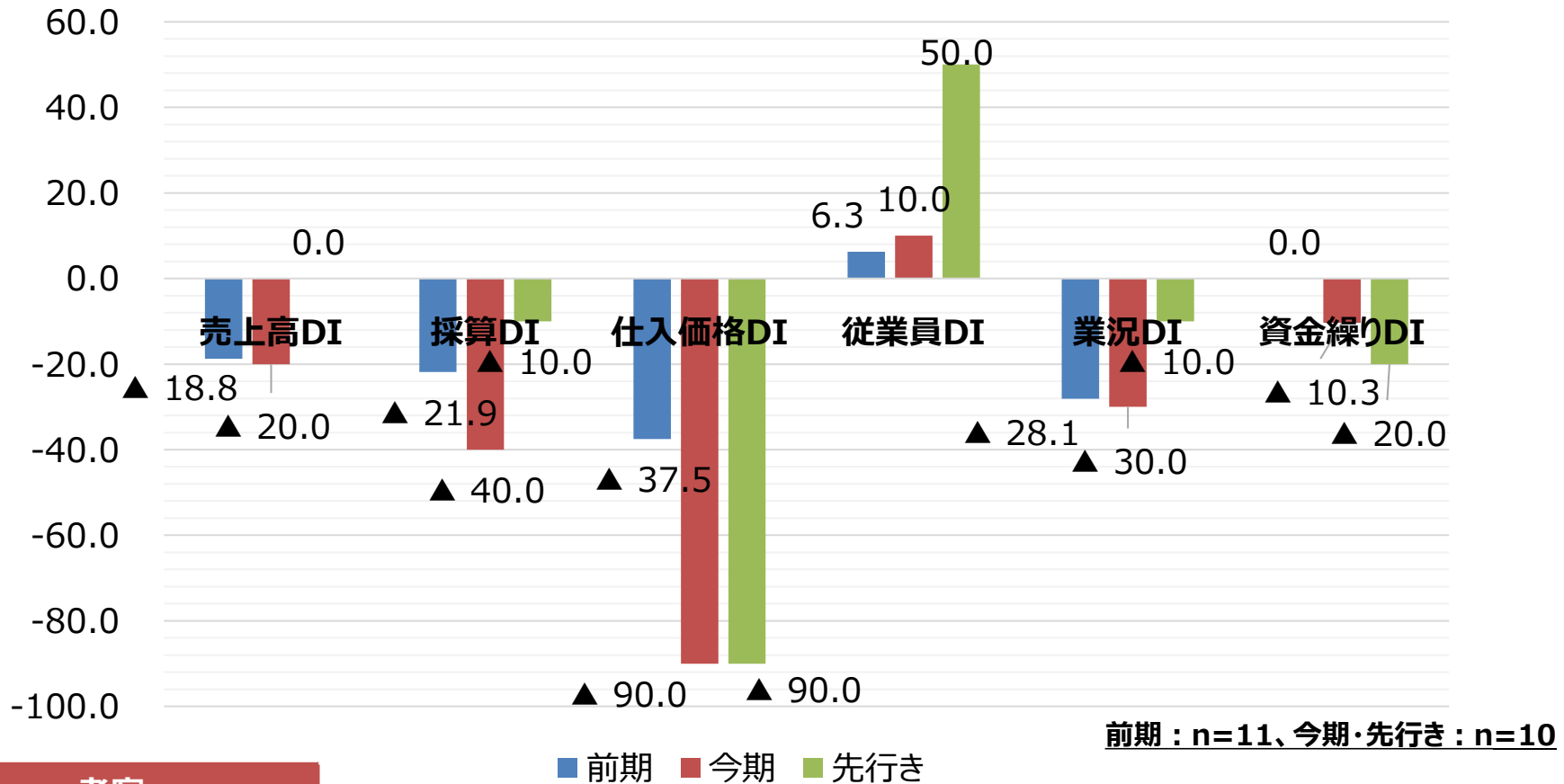
## 問2：景況感について | 卸売・小売業（前回-今回-先行き）



### 考察

- 他の業種と比較し、卸売・小売は、今期の売上高DIが19.2ポイントと最も大きい値となった。
- 今期と先行きを比較して、採算、仕入価格、業況、資金繰りDIがいずれも減少するとみている。
- 円安急進に伴う輸入品の価格上昇などコスト負担が増加する中、物価高による消費マインド低下も悪化に影響している。
- 一方で、コロナの水際対策緩和による人流回復の影響で、売上高DIは前回と比較して、26.3ポイント上昇している。

## 問2：景況感について | 飲食業DI (前回-今回-先行き)

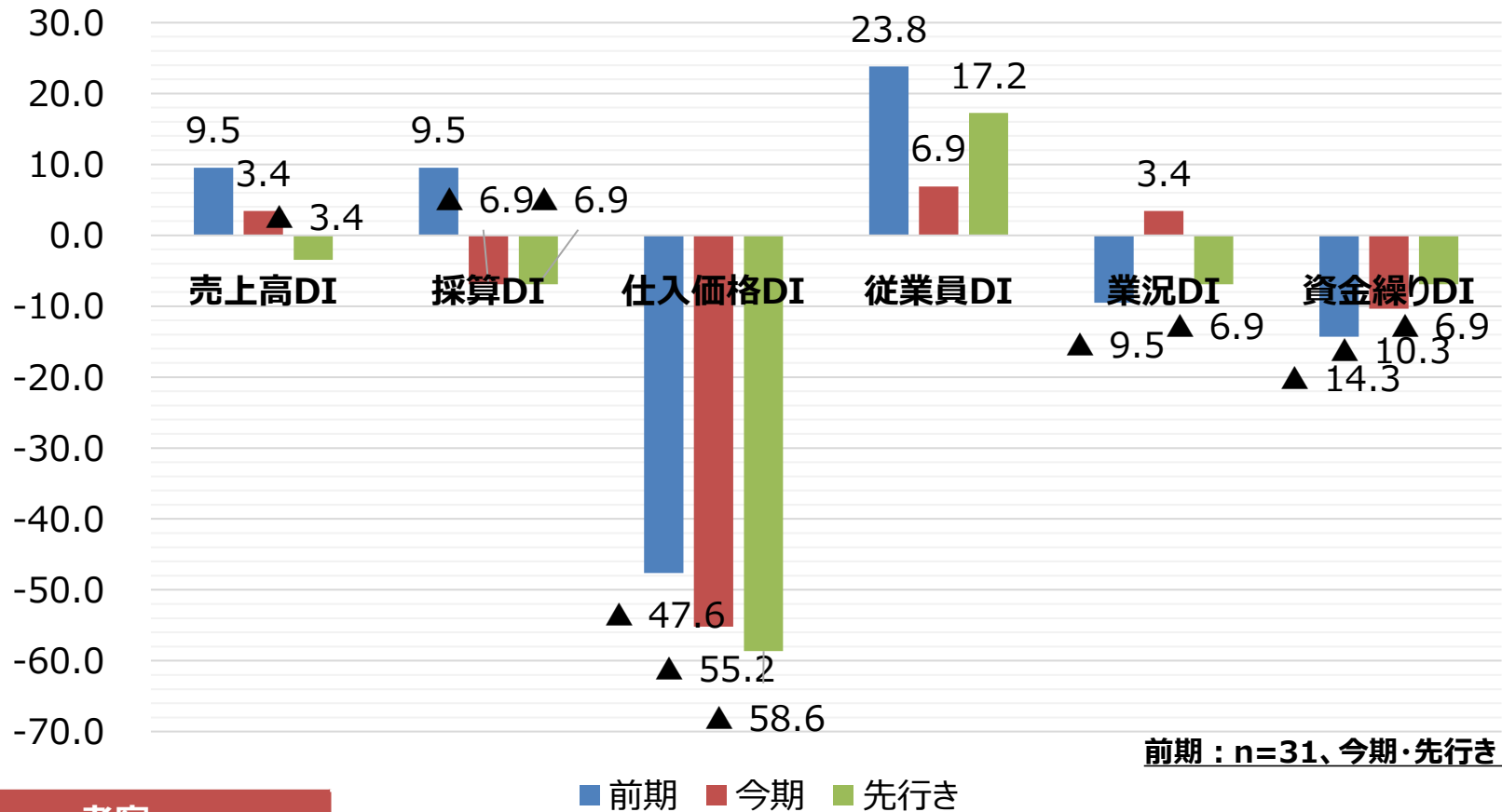


### 考察

- 飲食業では、今期の売上高DIが▲20.0、採算▲40.0、業況▲30.0と、減少（悪化）割合が高い。しかし先行きについてはいずれも回復するとみている。
- 仕入価格DIは前回から52.5ポイント悪化し、他業種と同様の傾向である。先行きも同じ水準で悪化が続くとみている。
- 資金繰りの見通しについては、他業種と比較し、最も悪化する見通しとなっている。
- 資金繰りDIの悪化の背景は、食材費が高騰する中で、客足確保のために価格転嫁ができていないことが考えられる。
- 10月に開始した全国旅行支援や入国者制限の大幅緩和による、人流回復の期待が先行きの数値に表れている。



## 問2：景況感について | サービス業DI (前回-今回-先行き)



### 考察

- サービス業では、前期と今期を比較すると、売上高DIが6.1ポイント、採算DIが16.4ポイント減少となった。
- 先行きについても、売上は6.8ポイント減少、採算は現状維持となっている。
- 3年ぶりに行動制限がない夏休みとなり人流回復により、業況DIは12.9ポイント回復。
- 一方で、経済活動が正常化に向かう中で、人手不足の深刻化を懸念するように従業員DIが10.3ポイント上昇の見通しで、悪化傾向が続く見込みである。

## 問3-1：コロナによる経営への影響

(※)「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。

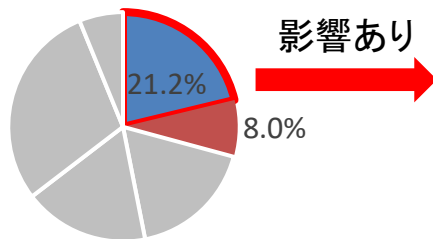
	全体 n=113	製造業 n=25	建設業 n=17	卸売・小売業 n=26	飲食業 n=10	サービス業 n=29	その他 n=6
悪化の影響が続いている	21.2%	20.0%	11.8%	30.8%	60.0%	3.4%	33.3%
今後(※)、悪化の影響が見込まれる	8.0%	0.0%	0.0%	11.5%	10.0%	17.2%	0.0%
既に改善の影響がある	17.7%	32.0%	23.5%	19.2%	0.0%	10.3%	0.0%
今度、改善の影響が見込まれる	17.7%	16.0%	11.8%	11.5%	10.0%	24.1%	50.0%
特に影響はない	29.2%	24.0%	47.1%	11.5%	20.0%	44.8%	16.7%
わからない	6.2%	8.0%	5.9%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%

全体の割合よりも  
+5%以上高い業種を色付け

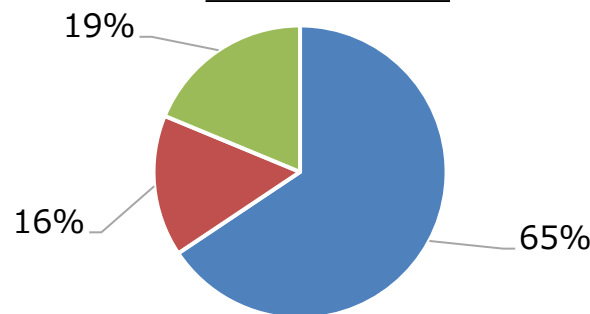
## 問3-2：売上高の減少

問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

問3-1：コロナによる経営への影響

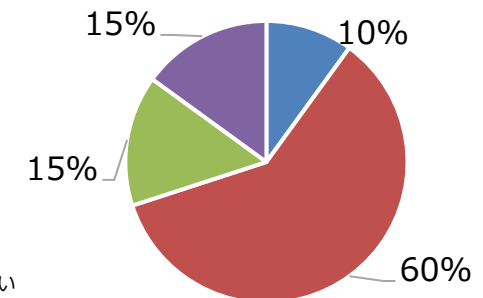


問3-2 n=32



■ コロナの影響により経営が悪化し、売上高が減少している ■ 特に変化はない ■ わからない  
(または減少すると思われる)

問3-2(減少率) n=20

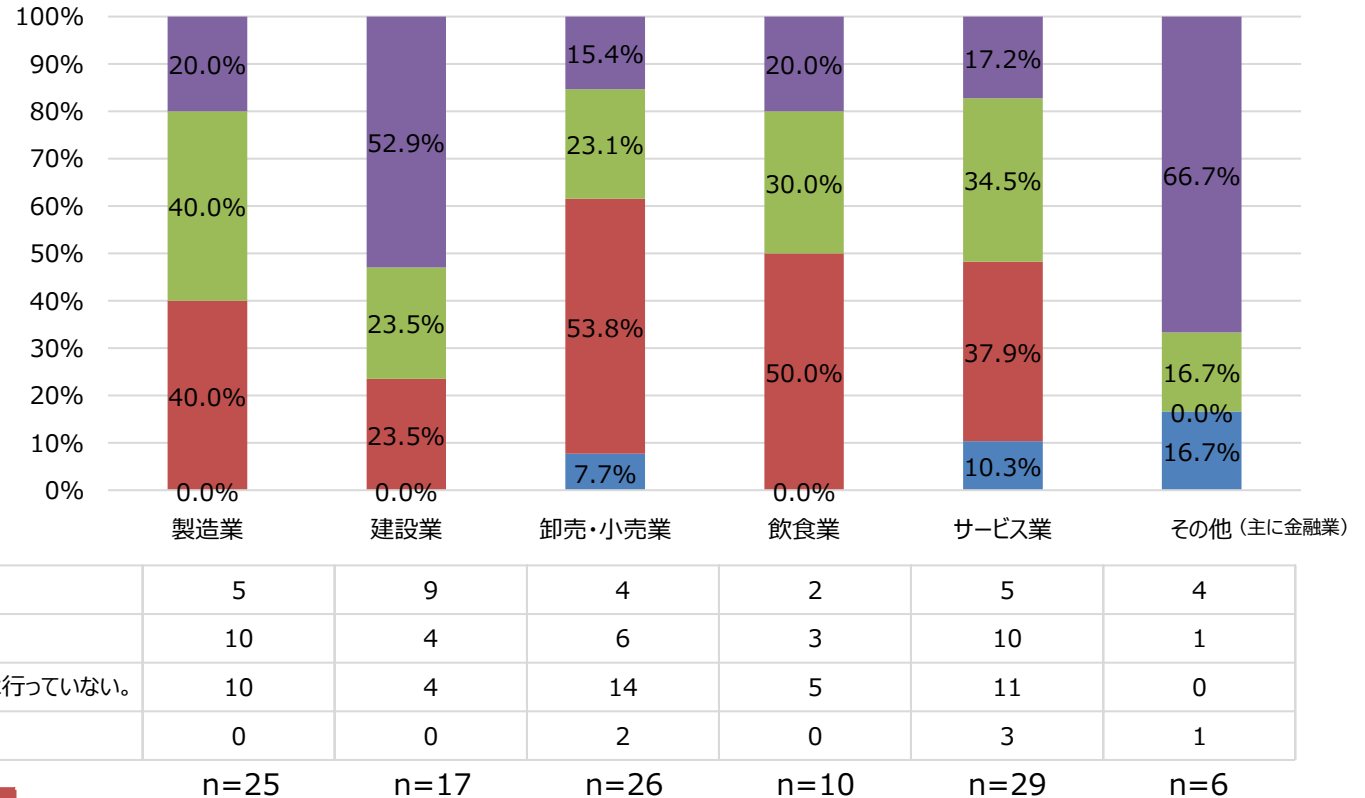


■ 10%未満 ■ 10~30% ■ 31~50% ■ 51%以上

### 考察

- 問3-1は、全体で「既に改善の影響がある」「今後、改善の影響が見込まれる」「特に影響はない」が64.6%を占めている。
- 問3-2では「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答した約30%のうち、コロナ前と比較して80%が減少と回答している。「31%以上の減少率がある」回答者は、30%であった。
- 飲食業は「悪化の影響を受けている」「今後、悪化の影響が見込まれる」が合わせて70.0%に対し、建設業は82.4%以上がコロナの影響が改善、もしくはそもそも影響がなかった。業種によって正反対の結果となった。
- 製造業やサービス業についても、改善傾向もしくは影響がなかった回答が過半数を占めている。

## 問4-1：風水害や地震等の自然災害への備えを行っていますか。（業種別）



### 考察

- 風水害や地震等の自然災害への備えを行っている割合が最も高い業種は、建設業（52.9%）であった。
- 「行ってない」と回答とした割合が高い業種は、卸売・小売業（61.5%）、飲食業（50.0%）であった。
- 製造、卸売・小売業、飲食業では「具体的な備えは行ってない」回答割合が最も高いが、コロナ感染に対するBCPを進めているという会員の声もある。

## 問4-2：具体的にどのような備えを行っていますか。（複数回答可）

問4-1で「備えている」「備えを進めている」と回答した方を対象

※複数回答（228件）

※アンケート用紙の選択項目順

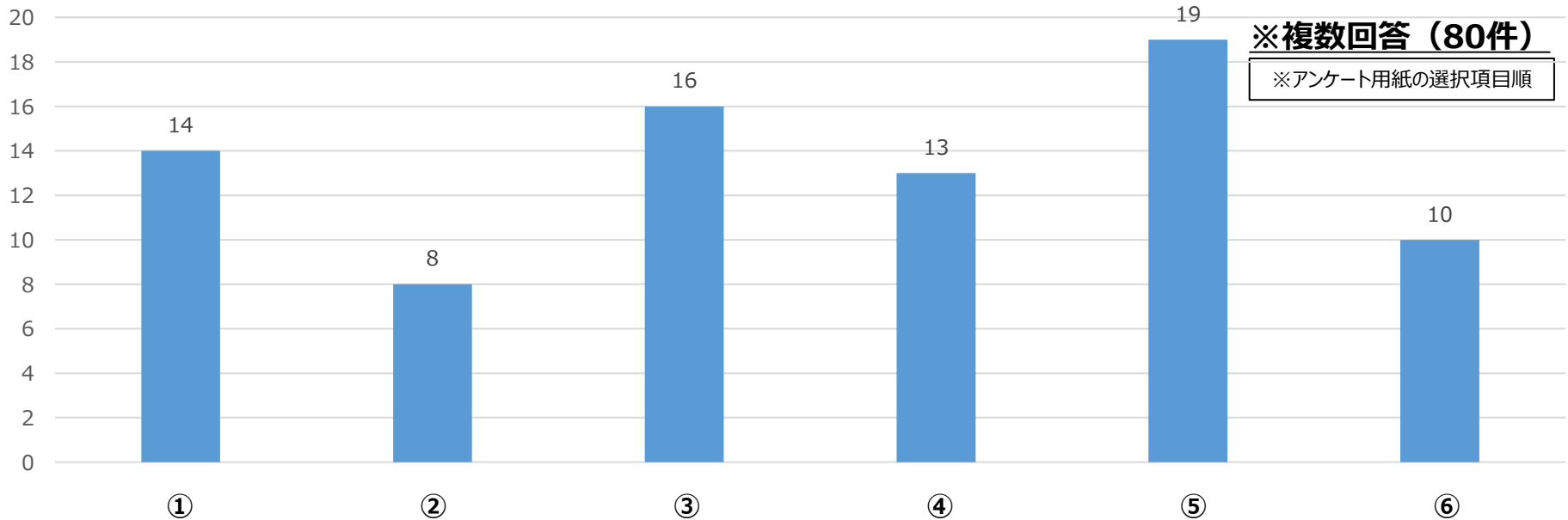
番号	自然災害に対する備えの内容	全体	製造業	建設業	卸売・小売業	飲食業	サービス業	その他
①	BCP（事業継続計画）を策定している。	17	4	3	3	0	4	3
②	事業継続力強化計画（簡易版BCP）を策定している。	10	3	2	1	0	2	2
③	事業所所在地の洪水・地震ハザードマップを確認している。	35	11	6	5	1	7	5
④	水や食料を備蓄している。	43	7	10	7	3	11	5
⑤	避難場所や避難経路を定めている。	19	4	3	3	1	4	4
⑥	従業員の安否確認の方法・手段を定めている。	28	6	9	4	1	4	4
⑦	家具・什器・設備等が転倒しないように固定している。	18	4	4	4	3	3	0
⑧	損害保険に加入している。	41	12	10	5	1	9	4
⑨	被災時の早期復旧や事業継続についての方法をイメージしている。	16	5	2	0	0	7	2
⑩	製品の積み方等、知恵を出し合って備えている。	1	1	0	0	0	0	0
合計		228	57	49	32	10	51	29

### 考察

- 取り組まれている備え上位3項目は、④「水や食料の備蓄（43件）」⑨「損害保険加入（41件）」③「洪水・地震ハザードマップを確認（35件）」であった。
- 建設業では⑥「従業員の安否確認の方法・手段を定めている」の回答が9件と他業種と比較して多い。
- 上位3つの回答については、備えを行うまでに短時間で済み、手間がかからないことが背景にあるとみられる。
- 一方で、計画や手段を定める必要がある備えについては、時間を要するため、上位回答数の60%程度に減少している。

## 問4-3：自然災害の備えを行っていない理由

問4-1で「備えが必要とは思いますが、具体的な備えは行っていない」と回答された方を対象



① 備えを行う時間的な余裕がないため  
② 備えを行う人員的な余裕がないため  
③ 備えを行う金銭的な余裕がないため  
④ 何をどう備えればよいのかわからないため

⑤ 企業規模が小さく、柔軟に対応できるため  
⑥ 何かと後回しにしてしまうため  
⑦ その他（回答なし）

### 考察

- 行っていない理由として、「企業規模が小さく、柔軟に対応できる」という回答が最多となった。
- ①「時間的な余裕がない」③「金銭的な余裕」という回答が、2番目、3番目に多い回答であった。
- 前項のスライドに記載の備えの上位3項目は、時間的・金銭的・作業的負担が比較的軽いものであった。行っていない会員と行っている会員の間に「備え」に対する、認識のギャップがある。
- 「何をどう備えればよいのかわからない」回答もあることから、会員に対する周知徹底が求められる。

## 問5：今後の経営において、行政や商工会議所へ望むこと（トピックス）

コロナ、円安、自然災害、人手不足などの様々な経済問題に対する行政要望が目立った。経営支援および相談窓口を起点に、課題解決に繋がるサービスが求められている。

カテゴリー	会員の声（一部抜粋）
経営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IT支援（指導者の派遣）（製造業）</li> <li>● 人手不足に対する支援（製造業）</li> <li>● 相談窓口の案内を強化して欲しい（サービス業）</li> </ul>
資金調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まだまだ、コロナ対策でお客様のご来店が悪いので、支援金給付金をお願い致します（飲食業）</li> <li>● DX補助金の限度額拡大（製造業）</li> </ul>
販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業者同士のネットワーク拡充（卸売・小売業）</li> <li>● 事業マッチング（建設業）</li> </ul>
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 政府の補助金等の周知やサポートをお願いしたい（サービス業）</li> <li>● 宣伝・PR等へ力を入れてもらいたい（飲食業）</li> <li>● 地域情報の共有、連携強化（その他）</li> <li>● 補助金等の情報（サービス業）</li> </ul>
セミナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SDGsのセミナー開催（建設業）</li> <li>● 融資環境や金利動向見通しについて勉強会の開催（サービス業）</li> </ul>
行政要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 返済条件の良い助成制度（卸売・小売業）</li> <li>● 大企業と中小企業の賃金格差の是正（製造業）</li> <li>● 自然災害対応への支援（飲食業）</li> <li>● 事業用資金融資の緩和（サービス業）</li> <li>● 円安への対応・改善（卸売・小売業）</li> <li>● 建設業の賃金UPや人手不足改善の為の政策（建設業）</li> <li>● 働き方改革が下請け業者まで浸透する為の政策（建設業）</li> <li>● 経営や私生活の立て直しには、まず、生活インフラの改善が重要と思われる（サービス業）</li> <li>● 減税（サービス業）</li> </ul>
会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本当にいつも川口商工会議所様に有り難いフォローを頂いてます。引き続き宜しくお願い致します（サービス業）</li> <li>● 地域経済の活性化（サービス業）</li> </ul>

# 参考資料 第30回 (7-9月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

## 第30回 (7-9月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力のお願い

令和4年10月12日

会員のみなさまへ (必ずご回答くださいますようお願い申しあげます。)

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。



当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「リアルタイム景況調査」を実施しております。このたび、第30回(7-9月期)調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、**10月21日(金)までに**、FAX またはアンケートフォーム(右 QR コード)にてご返信いただきますようお願いいたします。

皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますので参照ください。 川口商工会議所

アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 \*複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売・小売業	4 飲食業
5 サービス業	6 その他 ( )		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年～40年	6 41年～50年	7 51年～60年	8 61年～70年
9 71年～80年	10 81年～90年	11 91年～100年	12 101年以上

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

(4) 従業員(正社員)数(パート・アルバイトを除く)をご記入ください。

\_\_\_\_\_人

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

(5) 収益状況(直近の決算)

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

\*設問の「今期」は 令和4年7月～9月としてお答えください。

1 売上高	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□増加 □不変 □減少 □増加 □不変 □減少
2 採算	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□好転 □不変 □悪化 □好転 □不変 □悪化
3 仕入単価	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□下落 □不変 □上昇 □下落 □不変 □上昇
4 従業員	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□不足 □不変 □過剰 □不足 □不変 □過剰
5 業況	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□好転 □不変 □悪化 □好転 □不変 □悪化
6 資金繰り	(1) 今期(4月～6月と比べ) (2) 今後の先行き見通し(10月～12月)	□好転 □不変 □悪化 □好転 □不変 □悪化

問3-1 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)による経営への影響をお聞かせください。

- 1: 悪化の影響が続いている
- 2: 今後(※)、悪化の影響が見込まれる
- 3: 既に改善の影響がある 4: 今後、改善の影響が見込まれる 5: 特に影響はない 6: わからない

問3-2 問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

悪化の影響による売上高の減少はありますか(または減少すると思われるか)。(いずれか1つ)

- 1: コロナ前(2020年1月ごろ)と比較し「減少している」  
→ (減少割合 ア: 10%未満 イ: 10～30% ウ: 31～50% エ: 51%以上)
- 2: 特に変化はない 3: わからない

問4 (改めて全ての方に、お伺いします)自然災害への備えについて伺います。

近年、全国各地において台風や地震等の自然災害が頻発しており、中小企業・小規模事業者様に甚大な影響を及ぼしています。このような状況を受け、自然災害への対策の重要性が見直されています。

問4-1 風水害や地震等の自然災害への備えを行っていますか。(いずれか1つに○)

- 1: 備えている。
- 2: 備えを進めている。
- 3: 備えが必要とは思いますが、具体的な備えは行っていません。
- 4: 備えは行っておらず、必要性も感じない。
- 5: \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_

問4-2 問4-1において、「1: 備えている」「2: 備えを進めている」と回答された方に伺います。

具体的にどのような備えを行っていますか。(複数回答可)

- 1: BCP(事業継続計画)を策定している。
- 2: 事業継続力強化計画(簡易版BCP)を策定している。

3: 事業所所在地の洪水・地震ハザードマップを確認している。 4: 水や食料を備蓄している。

5: 避難場所や避難経路を定めている。 6: 従業員の安否確認の方法・手段を定めている。

7: 家具・什器・設備等が転倒しないように固定している。 8: 損害保険に加入している。

9: 被災時の早期復旧や事業継続についての方法をイメージしている。  
1 \_\_\_\_\_ 0 \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ その \_\_\_\_\_ 他 \_\_\_\_\_ )

問4-3 問4-1で「3: 備えが必要とは思いますが、具体的な備えは行っていません」と回答された方に伺います。

- その理由をお聞かせください。(複数回答可)
- 1: 備えを行う時間的な余裕がないため
  - 2: 備えを行う人員的な余裕がないため
  - 3: 備えを行う金銭的な余裕がないため
  - 4: 何をどう備えればよいかかわからないため
  - 5: 企業規模が小さく、柔軟に対応できるため
  - 6: 何かと後回しにしてしまうため
  - 7 \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ その \_\_\_\_\_ 他 \_\_\_\_\_ )

問5 今後の経営において、行政や商工会議所へ望むことをお聞かせください。

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。今年度より、ご回答いただきました会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。(非公開内容となります。)

事業所名	
今後、希望するアンケートの発信方法	FAX ・ メール (いずれかにお送りいたします。)
メールアドレス(メールでご希望の場合)	

ご協力ありがとうございました。\*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。

問い合わせ: 川口商工会議所総合政策課(Tel:048-228-2220)